

「自然発車事故」に注意！



■自然発車とは・・・

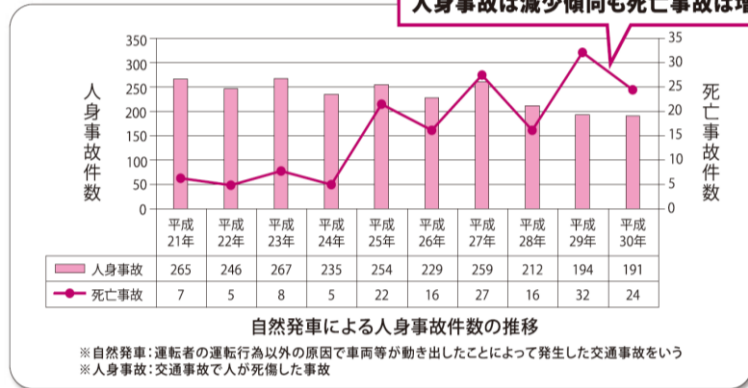
警察が人身事故を取り扱うときに作成する「交通事故統計原票」で定義されている言葉で「ドライバーの運転以外の原因でクルマが動き出したことによる交通事故」のことです。自然発車による事故は重大事故に発展しやすく非常に危険です。クルマを停めた後に、止まっていると思っているクルマが自然に動き出してしまいクルマの近くにいた人が死傷するケースが多発しています。なかには、動き出したクルマを自力で止めようとして、クルマに轢かれて死亡してしまう事故も発生しています。

出典：イタルダイナフォメーション

■発生推移

【自然発車による人身事故件数の推移】

人身事故は減少傾向も死亡事故は増加傾向！



自然発車による人身事故は平成21年から平成30年までの10年間で2,352件発生しており、死亡事故が162件、重傷事故が387件となっています。死亡事故は平成21年から平成25年までの5年間の合計が47件であったのに対し、平成26年から平成30年の5年間の合計では115件と約2.5倍に増加しています。自然発車の事故は

決して多いとは言えない事故形態ですが、直近5年間の交通事故全体の死亡事故率が0.8%であるのに対し、直近5年間の自然発車による死亡事故率は約1.1%と格段に高いことが分かりました。

■事故の特徴

- 自然発車による死亡事故の約82%が第一当事者（運転者）で重傷事故の約64%も運転者自身が負っています。（自然発車した車を運転者が止めようとして負傷するケースが多い）
- 自然発車の83%が免許取得後10年以上の運転手が起こしています。また死亡事故では、約90%、重傷事故では約89%が取得後10年以上の運転者となっていることが分かっています。
- 自然発車における死亡事故の60%が勾配3%以上の坂道で起きています。また重傷事故の約半分以上が勾配3%以上の坂道で起きていることが分かっています。（勾配3%以上の坂道で発生すると重大事故につながりやすい。）

★事故防止にむけて★

- ✓ 一見して平坦な場所であっても、確実にパーキングブレーキをかけ、パーキングレンジがある車はパーキングレンジに入れましょう。大きな車は輪留めもしましょう！
- ✓ 万が一、駐車したはずの車が動き始めてしまった場合は人の力で無理に止めようとはせず、周囲に車が動き始めてしまったことを周知させ、2次事故を防ぐことを最優先にしましょう。